

# 3月のささやまっこだより

令和6年3月1日  
篠山保育園  
園長 足立善一郎



風が少しずつやわらいて、春の風が変わってきました。いよいよ今年度もあと一ヶ月。小学校へと胸ふくらますばら組さん。篠山保育園の年長さんとしてしっかり育ち、あとは自分たちが築いてきたものをふじ組さんたちに引き継いでいきます。また、4月に入園、進級したみんなも喜びと緊張のスタートでした。初めて親と離れての集団生活に子ども親も不安いっぱい。でも毎日少しずつ少しずつ気持ちがあたしくなり、今では自分の気持ちをどんどん伝えることができるようになってきました。私たち保育者は子どもたちの基本的習慣(食事、着替え、排泄)の自立をめざし、子どもたち自身も自分でできるようになった喜びと充実感を味わってもらえれば、そして友だちと出会い、いろいろな人間関係を体験し一つずつ成長してもらえればと願いつつ保育をしてきました。そしてそれは現在も進行中ですが、これらのことは、保護者のみなさんあってのことです。今後ご家庭と力を合わせ、一人一人の子どもたちがその子らしく成長していくことを願い保育をしていきたいと思っています。これからご協力をお願いします。また、事業後援会の役員さん方にも行事のサポートをしていただきました。本来なら、ゆっくりお子さんと行事を楽しんでいただくものなのですが、保護者の皆さんを代表してお手伝いをいただいたことに感謝申し上げます。



## 「どすん ドスン 鬼の足音が!」



2月2日、行事なのにあまり子どもたちからは歓迎されない「豆まき」がありました。豆まき経験のある子は、当日の登園も気が進まなかったことかと思われます。しかし、この豆まきで心の中にいる悪い鬼やおなかの中にいる病気鬼を追い出さなければなりません。園内に流れるBGM、そして「ドスッ ドスッ」と鬼の足音が!!保育室に入ってみると子どもたちの果敢な豆攻撃!そして職員を連れて行こうとする鬼!子どもたちの猛攻が続きます。しかし、勢いがあつた鬼たちも少しずつ体力が衰えていきました。最後は、ごめんなさいとばかりに腰を落とし、逃げ出していきました。鬼は、2階にも保育室があることを知らず、小さいクラスの子たちのお部屋にはいきませんでした。



## さくら、もも、ふじ、ばら組さんの生活発表会の一場面



さくら組  
「おおきなかぶ」



もも組  
「3びきのこぶた」



ふじ組  
「おむすびころりん」



ばら組  
「曲太鼓」



ばら組  
「しらゆきひめ」

## 3月の行事予定表

- 1日(金) ひな祭りお茶会(ふじ、ばら組)
- 12日(火) 誕生会
- 13日(水) 卒園式リハーサル(ばら組)
- 15日(金) お別れ会
- 20日(祝) 第46回卒園式
- 23日(土) 第47回入園式、園内研究会
- 26日(火) 避難訓練
- 30日(土) 新年度準備

23日は、家庭保育にご協力ください。

通常保育ですが、ご都合のつかれる方は早めのお迎えにご協力ください。(午後3:30以降)

- 4, 18日…えいごであそぼう(ばら組)
- 11日…えいごでそぼう(ふじ組)

## 4月の行事予定表

- 1日(月) 新年度保育始まり
- 13日(土) 園内研究会

4月前半の行事のみお知らせします

- 8, 22日…えいごであそぼう(ばら組)
- 15日…えいごでそぼう(ふじ組)

3月は、園だよりが2回ですのお楽しみに!

## 「脳と運動の関係」

食と教育研究家の廣瀬正義さんによると、運動前と運動後で記憶力を調べると、運動後の方が10~15%位よくなったそうです。記憶力がよくなったのではなく、脳の活性化が高まったのです。しかも、腕立て伏せなどの上半身を使った場合と、ランニングなどの持久走をやったあとでは、後者の脳の活性化がいい。筋肉を多く使った方が、脳の活性化も高まるといえます。脳は使うことで働きが維持されます。(中略) 幼児期は、脳も体も急速に発達していく時期です。だからこそ、子どもの時ほど、運動をさせなければいけないのです。鬼ごっこや縄跳びなど、体を動かす遊びには、多様な動きが含まれています。特定のスポーツを続けるよりも、いろいろな動きを獲得するのに効果的なのです。小さい時から、転んじゃいけない、すり傷をつけたら大変だ、という子育てをしてしまうと、子どもは筋肉の発達の上でもどんどん弱くなっていきます。体を動かして遊ぶことの楽しさを伝え、ワクワクやドキドキを通して、からだ力をアップさせましょう!ということです。 「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」今井和子著より

幼児期の「あそび」の大切さを改めて感じましたので、紹介させていただきました。 園長

## 気をつけてください

気温があがってくると、気持ちも緩みがち。そんな時“うっかり!”車の『ロック忘れ』。車上荒らしがねらっています。また、貴重品が入っていないバッグ類でも、車上荒らしにとっては、「貴重品が」と思い、ガラスを割ってでも犯行におよびます。修理代の方が高くなります。以前、保護者が被害に遭いました。

気をつけましょう。



ばら組の「しらゆきひめ」に憧れて、もも、ふじの子たちがばら組さんから指導を仰いでいるようす!

